

なかの・みず・みどり
中野・水・みどり (上田市)

・組織の活動面積	A = 19.51 ha
・組織の構成員数	約 100 人

組織形態	共同活動	中山間直接支払	向上活動
取組開始年度	平成19年～	-	平成24年～

構成員	農業者、中野自治会、中野農家組合
-----	------------------

組織の概要

中野自治会は、混住化率80%という典型的な混住化自治会です。あわせて、土地改良事業面積は極めて少なく、集落に点在する未整備農地は一筆面積も必然的に少なくなっています。したがって、合理的な営農活動が困難な地域となっています。しかし、農地をはじめとし、農業用施設が集落内にありますので、その保全に頭を悩ましています。

農家組合は、遊休農地の解消や遊休農地を活用した活動を行っており、農業用施設の保全にも自治会の皆さんの協力を得て活動しています。

美しい農村の景観をみんなの手で創造しよう

中野・水・みどりの活動範囲には、ため池が1か所あります。このため池は、農業用水として使われていますが、自治会の防災ため池としても位置づけられています。そこで、7月下旬の日曜日午前6時から自治会全員で草刈りを行っています。参加者が400人くらいになるので、危険な草刈機は使わず、鎌による手刈りで実施しています。

このような活動を通して、中野のため池は、農業者だけでなく自治会全員の物であり、今後も管理していかなければならないという意識が芽生えています。

7月下旬 ため池の草刈り →



景観形成のための施設への植栽活動と農用地を活用した景観形成活動を行っています。

農用地へティフ・ブレアを植栽し、景観と草刈りの省力化に役立っています。

また、遊休農地を活用し、菜の花の植栽をしています。毎年5月の連休には見頃を迎え、農業者だけでなく地域住民にも黄色の菜の花を楽しんでもらっています。

← 2,000㎡の菜の花植栽地



中野地区は、ほ場整備された水田が少なく、しかも、白地農地が多く存在しています。

混住化率が80%という地域で、非農家の皆さんとの人間関係を良好に保つためにも、この事業が大きく貢献していると思っています。